

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月10日 (2009.9.10)

【公表番号】特表2009-502903(P2009-502903A)

【公表日】平成21年1月29日 (2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-523539(P2008-523539)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/4184 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/64

A 6 1 K 31/4184

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/54

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 19/08

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 19/06

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 17/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月21日 (2009.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

変形性関節症を治療するために特定される医薬品を製造するための、レニン-アンギオテンシン系の成分の活性または発現をダウンレギュレーションすることができる薬剤の使用。

【請求項 2】

軟骨または皮膚の疾患または状態を治療するために特定される医薬品を製造するための、レニン-アンギオテンシン系の成分の活性または発現をダウンレギュレーションすることができる薬剤の使用。

【請求項 3】

軟骨の疾患はリウマチ様関節炎ではない、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

前記薬剤はアンギオテンシン変換酵素阻害剤である、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 5】

前記アンギオテンシン変換酵素阻害剤は、AB-103、アンコベニン、ペナゼプリラト、BRL-36378、BW-A575C、CGS-13928C、CL242817、CV-5975、Equaten、EU4865、EU4867、EU-5476、ホロキシミチン、FPL66564、FR-900456、Hoe-065、I5B2、インドラプリル、ケトメチルウレアス、KRI-1177、KRI-1230、L681176、リベンザプリル、MCD、MDL-27088、MDL-27467A、モベルチプリル、MS-41、ニコチアミン、ペントプリル、フェナセイン、ピボプリル、レンチアプリル、RG-5975、RG-6134、RG-6207、RGH0399、ROO-911、RS-10085-197、'RS-2039、RS5139、RS86127、RU-44403、S-8308、SA-291、スピラプリラト、SQ26900、SQ-28084、SQ-28370、SQ-28940、SQ-31440、Synecor、ウチバプリル、WF-10129、Wy-44221、Wy-44655、Y-23785、Yissum、P-0154、ザビシプリル、Asahi Brewery AB-47、アラトリオプリル、BMS182657、Asahi Chemical C-111、Asahi Chemical C-112、Dainippon DU-1777、ミキサンプリル、Prentyl、ゼフェノプリラト、1-(1-カルボキシ-6-(4-ピペリジニル)ヘキシル)アミノ)-1-オキソプロピルオクタヒドロ-1H-インドール-2-カルボン酸、Bioproject BP1.137、Chiesi CHF1514、Fisons FPL-66564、イドラプリル、ペリンドプリラトおよびServier S-5590、アラセプリル、ペナゼプリル、カプトプリル、シラザプリル、デラプリル、エナラプリル、エナラプリラト、ホシノプリル、ホシノプリラト、イミダプリル、リシノプリル、ペリンドプリル、キナプリル、ラミプリル、ラミプリラト、酢酸サララシン、テモカプリル、トランドラプリル、トランドラプリラト、セラナプリル、モエキシプリル、キナプリラトおよびスピラプリルからなる群から選択される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 6】

前記薬剤はNEP/ACE阻害剤である、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 7】

前記薬剤はAT1受容体アンタゴニストである、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 8】

前記AT1受容体アンタゴニストは、酢酸サララシン、カンデサルタンシレキセチル、CGP-63170、EMD-66397、KT3-671、LR-B/081、バルサルタン、A-81282、BIBR-363、BIBS-222、BMS-184698、カンデサルタン、CV-11194、EXP-3174、KW-3433、L-161177、L-162154、LR-B/057、LY-235656、PD-150304、U-96849、U-97018、UP-275-22、WAY-126227、WK-1492.2K、YM-31472、ロサルタンカリウム、E4177、EMD-73495、エプロサルタン、HN-65021、イルベサルタン、L-159282、ME-3221、SL-91.0102、Tasosartan、Telmisartan、UP-269-6、YM-358、CGP-49870、GA-0056、L-159689、L-162234、L-162441、L-163007、PD-123177、A-81988、BMS-180560、CGP-38560A、CGP-48369

、DA-2079、DE-3489、DuP-167、EXP-063、EXP-6155、EXP-6803、EXP-7711、EXP-9270、FK-739、HR-720、ICI-D6888、ICI-D7155、ICI-D8731、イソテオリン、KRI-1177、L-158809、L-158978、L-159874、LRB087、LY-285434、LY-302289、LY-315995、RG-13647、RWJ-38970、RWJ-46458、S-8307、S-8308、サブリスルタン、サララシン、Sarmesin、WK-1360、X-6803、ZD-6888、ZD-7155、ZD-8731、BIBS39、CI-996、DMP-811、DuP-532、EXP-929、L-163017、LY-301875、XH-148、XR-510、ゾラサルタンおよびPD-123319からなる群から選択される、請求項7に記載の使用。

【請求項9】

前記薬剤はレニン阻害剤である、請求項1または2に記載の使用。

【請求項10】

前記レニン阻害剤は、エナルクレイン、RO42-5892、A65317、CP80794、ES1005、ES8891、SQ34017、CGP29287、CGP38560、SR43845、U-71038、A62198、A64662、A-69729、FK906およびFK744からなる群から選択される、請求項9に記載の使用。

【請求項11】

前記薬剤は、前記レニン-アンギオテンシン系の少なくとも1つの成分を発現する内因性の核酸配列に向けられたオリゴヌクレオチドである、請求項1または2に記載の使用。

【請求項12】

前記軟骨の疾患または状態は、変形性関節症、制限された関節の運動性、痛風、リウマチ様関節炎、軟骨融解、強皮症、変性椎間板疾患および全身性エリテマトーデスからなる群から選択される、請求項2に記載の使用。

【請求項13】

前記皮膚の疾患または状態は、しわ形成、乾癬、ケロイドおよび火傷からなる群から選択される、請求項2に記載の使用。

【請求項14】

リソソーム蓄積状態または囊胞性線維症を治療するために特定される医薬品を製造するための、レニン-アンギオテンシン系の成分の活性および／または発現をアップレギュレーションすることができる薬剤の使用。

【請求項15】

前記薬剤はアンギオテンシンIIアゴニストまたはアンギオテンシンII活性化因子である、請求項14に記載の使用。

【請求項16】

リソソーム蓄積状態はムコ多糖症の状態である、請求項14に記載の使用。

【請求項17】

前記変形性関節症はGAGのダウンレギュレーションと関連する、請求項1に記載の使用。

【請求項18】

前記軟膏または皮膚の疾患はGAGのダウンレギュレーションと関連する、請求項2に記載の使用。